

新潟市暮らしの点検・評価アドバイザー会議におけるご意見への対応等

事業名：「新潟発わくわく教育ファーム」推進事業（担当：食育・花育センター）

| No. | ご意見 | 対応等 |
|-----|---|--|
| 1 | 農業体験学習を全ての保育園、幼稚園で実施してほしい。市内でも地域による不平等が発生しないように取り組んでほしい。 | <p>保育園・幼稚園は私立が多いので、各園が自ら取り組んでみたいと思ってもらえるように事業の趣旨を訴えていきます。</p> <p>なお、菌ちゃん野菜づくりの普及については、指導を行うインストラクターの協力・養成が不可欠であることから、インストラクターを増やして地域による不平等がないようにします。</p> |
| 2 | 市民向けとして、保育園や幼稚園に入る前のもっと小さな子どもたちが体験できるプログラムも検討してほしい。 | <p>アグリパークと相談し、乳児の子育て支援を行っている団体の協力を得ながら考えていきます。</p> |
| 3 | 各地にある休耕田を活用してはどうか。 | <p>本市では、附属新潟小学校を含めて111校の小学校があり、そのうち90校が米づくり学習を実施しています。すでに実施している学校については、場所を変えてもらうことは難しいので、新規で実施したい学校があった場合、立地等の条件が合えば休耕田の活用を考えていきます。</p> |
| 4 | アグリパークが出来上がり過ぎていて、実際の農家の活動の大変さが感じられない。泥臭さ、不便さも勉強なので実態に即した体験活動に近づけることも検討してほしい。 | <p>実際の農家の活動の大変さを感じてもらえるように、アグリパークの農業体験学習では、荒天でない限り、雨天でも活動を決行にしています。また、子ども達が行う体験は、機械化される前の農機具（田植え定規、唐箕）など、昔の農家の作業が体験できるようなことも取り入れています。</p> <p>なお、活動を行う際は、子ども達の安全に配慮することが重要なので、教員、アグリパークのインストラクター、学習指導者・補助者が協力しながら実施しています。</p> |

| No. | ご意見 | 対応等 |
|-----|---|--|
| 5 | <p>総合学習の計画をたてる時期が年度当初で忙しいので、先生方への働きかけの時期を早くするなど検討してほしい。</p> | <p>当該年度の実践を踏まえて次年度の計画を見直し、改善することで、より充実した総合的な学習の時間の教育活動が期待できます。新年度に向けて年間指導計画の改善を図るように、各学校に働き掛けたいと考えています。</p> <p>なお、アグリパークを利用する農業体験学習については、早い段階で計画を立てられるように、前年度の10月に全校を対象にした説明会を開催しています。</p> |
| 6 | <p>CSRとして民間でやっている活動についても活用してはどうか。 (※CSR：企業の社会的責任)</p> | <p>消費者側に農業や食の重要性を理解してもらう「食農教育」に関しては、新潟県総合生活協同組合、各JAなどと連携しています。今後はさらに他分野の業種とも連携を図っていきたいと考えています。</p> |
| 7 | <p>農業体験を通じて、将来、農家になりたいと考える子どものために、その後のアプローチも検討してほしい。</p> | <p>アグリパークでは就農支援の役割も担っていますので、子ども達が大人になって農業をやりたい場合、アグリパークもその支援の受け皿になり得ると考えています。また、県内には農業大学校もありますので、これまでよりも間口が広がっていると考えています。</p> |
| 8 | <p>生産者と食卓を結びつける取組を行ってほしい。給食にも活用してはどうか。</p> | <p>本市では、完全米飯給食を実施しており、毎日のご飯に市内で生産された減農薬のコシヒカリを使用しています。</p> <p>また、様々な教科において、生産者のご指導のもと、栽培・収穫に関する学習をしており、その食材を給食に使用しています。その際は、生産者の方を学校に招いて一緒に給食を食べるなど、生産者とのつながりを大切にしながら、地元の物を知り、郷土に誇りを持つ教育を行っています。</p> |

■ その他のご意見

- ・農業だけでなく、大人の背中を見せられるような様々な分野の職場体験も必要だと思う。
- ・他の地域から訪れる人たちに対し、新潟の食をアピールするには、アグリパークのレストランの営業時間が短い。もう少し営業時間を考えてほしい。